

大学番号：023

注3

[平成28年度設置]

意見伺い（JD）

計画の区分：研究科の専攻の設置
注1

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻（博士課程）

注2

【意見伺い（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東京医科歯科大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長戦略企画課

職名・氏名 係長 ^{ヨネタ}米田 ^{アユミ}歩

電話番号 03-5803-4199

（夜間） 03-5803-4199

F A X 03-5803-0273

e-mail houki.adm@tmd.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(国際連携学科)」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科(国際連携学科)」

・大学院の研究科の専攻の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(国際連携学科)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医歯学総合研究科

＜東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻（博士課程）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
4. 既設大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東京医科歯科大学

【連携外国大学の設置者】チリ共和国チリ大学

(2) 大学名

東京医科歯科大学大学院

【連携外国大学の名称】

University of Chile(Universidad de Chile)

(注)・連携外国大学が置かれている国で用いられている言語による名称を()書きで記入してください。

(3) 大学の位置

〒113-8510

東京都文京区湯島1-5-45

【連携外国大学の本部の位置】

Av. Independencia 1027, Santiago, Chile

(Av. Libertador Bernardo O'Higgins 1058, Santiago de Chile)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヨシザワ ヤスキ) 吉澤 靖之 (平成26年4月)		
研究科長	(エイ ヨシノブ) 江石 義信 (平成28年4月)	(オキチ カツ) 興地 隆史 (平成29年4月)	研究科長交代のため 平成29年4月1日(29)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・ チリ大学国際連携医学系専攻 (博士課程) 博士(医学)	医学関係	5 年	3 人 <322>	15 人 <1044>	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の3))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ < >内の数字は, 母体となる研究科等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	4月入学	その他の学期	4月入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 3 (-) [-]	人 () () []	0.17倍	[]内には、チリ大学で入学手続きを行った外国籍の学生数を記載。なお、当該学生は、3年次以降、特別研究の進捗状況等に応じて、ビザを取得した後、日本に來日する。 平成29年10月入学者向けに平成29年8月に入試を行う予定。								
志願者数	1 (-) [1]	- (-) [-]	0 (-) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1 (-) [1]	- (-) [-]	0 (-) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	1 (-) [1]	- (-) [-]	0 (-) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	1 (-) [1]	- (-) [-]	0 (-) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.33		0.00									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 様式は、平成29年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 - (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ ()内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	4月入学	その他の学期	4月入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	1 [1] (-)	- [-] (-)	0 [-] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[]内には、チリ大学で入学手続きを行った外国籍の学生数を記載。なお、当該学生は、3年次以降、特別研究の進捗状況等に応じて、ビザを取得した後、日本に来日する。平成29年10月入学者向けに平成29年8月に入試を行う予定。
2年次	/		1 [1] (-)	[] ()							
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	1 [1] (-)	1 [1] (-)					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 様式は、平成29年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 - (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	1人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00 %
			平成29年度	0人	0人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成29年度 入学者	0人	0人	平成29年度	0人	0人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合計	1人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

ナ イ ゼ ミ	文献ゼミナール	1前・後・2前	チリ大学	3								4-5	4	4-3	1		12 13	職位変更、担当者追加	
	専 門 科 目 群	上部消化管外科臨床基礎 (チリ大学)	1後~2	チリ大学	20								3 4	2 2		1		7	職位変更のため (29)
上部消化管外科臨床応用 (チリ大学)		3~5	チリ大学	27								3 4	2 2		1		7	職位変更のため (29)	
上部消化管外科臨床基礎 (東京医科歯科大学)		3~4	東京医科歯科大学	20	1	+ 2	+ 2	4-2			7							7	職位変更のため (29)
上部消化管外科臨床応用 I (東京医科歯科大学)		4~5	東京医科歯科大学	35	1	+ 2	+ 2	4-2			7							7	職位変更のため (29)
上部消化管外科臨床応用 II (東京医科歯科大学)		3・4・5	東京医科歯科大学	8	1	+ 2	+ 2	4-2			7							7	職位変更のため (29)
大腸肛門外科		大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学)	1後~2	チリ大学	20								2	2 3		2 1		6	職位変更のため (29)
		大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学)	3~5	チリ大学	27								2	2 3		2 1		6	職位変更のため (29)
		大腸肛門外科臨床基礎 (東京医科歯科大学)	3~4	東京医科歯科大学	20	1	2 3	+ 0	2			6						6	職位変更のため (29)
		大腸肛門外科臨床応用 I (東京医科歯科大学)	4~5	東京医科歯科大学	35	1	2 3	+ 0	2			6						6	職位変更のため (29)
		大腸肛門外科臨床応用 II (東京医科歯科大学)	3・4・5	東京医科歯科大学	8	1	2 3	+ 0	2			6						6	職位変更のため (29)
胃腸病内科		胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)	1後~2	チリ大学	20								2	2		1		5	
		胃腸病内科臨床応用 (チリ大学)	3~5	チリ大学	27								2	2		1		5	
		胃腸病内科臨床基礎 (東京医科歯科大学)	3~4	東京医科歯科大学	20	3	2					5							
		胃腸病内科臨床応用 I (東京医科歯科大学)	4~5	東京医科歯科大学	35	3	2					5							
		胃腸病内科臨床応用 II (東京医科歯科大学)	3・4・5	東京医科歯科大学	8	3	2					5							
特 別 研 究	特別研究 (チリ大学)	3~5	チリ大学	40								8	7		4-3		19 18	メディア 職位変更のため (29)	
	特別研究 (東京医科歯科大学)	3~5	東京医科歯科大学	40		29 32	12 13	9 7	10 8		60							メディア 職位変更、担当者変更のため (29)	

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備 考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
東京医科歯科大学	2	12	0	14	2 [0]	12 [0]	0 [0]	14 [0]	
チリ大学	4	26	0	30	4 [0]	28 [2]	0 [0]	32 [2]	
共同開設科目	0	0	0	0	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1							
2			該当なし				
3							

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	チリ大学	学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル	3	1年前・後・2前	一般	選択	「英語での科学論文ディスカッション」と統合したため(28)
2							
3							

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

修得単位数が多いことから、授業内容が類似している「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」を「英語での科学論文ディスカッション」へ統合することとした。指導教員を通じて学生へ充分に説明を行うとともに、選択科目であるため学生及び専攻の運営に支障はない。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{44} = \boxed{2.27} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	77,695 m ²	0m ²	0m ²	77,695 m ²			
	運動場用地	19,972 m ²	0m ²	0m ²	19,972 m ²			
	小 計	97,667 m ²	0m ²	0m ²	97,667 m ²			
	そ の 他	13,929 m ²	0m ²	0m ²	13,929 m ²			
	合 計	111,596 m ²	0m ²	0m ²	111,596 m ²			
(2) 校舎	専 用	125,398 m ²	0 m ²	0 m ²	125,398 m ²			
	(125,398 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(125,398 m ²)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体		
	83室	52室	556室	2室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻			17 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能のため、申請大学全体の数 図書及び視聴覚資料は増加させている(28) 図書及び視聴覚資料は増加させている(29)
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	322,450 [142,501] 316,761 [141,484] 218,617 [123,767] (322,450 [142,501]) (316,761 [141,484]) (218,617 [123,767])	3,720 [2,060] 3,761 [2,098] 3,490 [1,974] (3,720 [2,060]) (3,761 [2,098]) (3,490 [1,974])	7,389 [6,332] 8,792 [7,732] 8,809 [7,778] (7,389 [6,332]) (8,792 [7,732]) (8,809 [7,778])	1,405 388 1,405 (388)	497 (497)	55,862 (55,862)	
	計	322,450 [142,501] 316,761 [141,484] 218,617 [123,767] (322,450 [142,501]) (316,761 [141,484]) (218,617 [123,767])	3,720 [2,060] 3,761 [2,098] 3,490 [1,974] (3,720 [2,060]) (3,761 [2,098]) (3,490 [1,974])	7,389 [6,332] 8,792 [7,732] 8,809 [7,778] (7,389 [6,332]) (8,792 [7,732]) (8,809 [7,778])	1,405 388 1,405 (388)	497 (497)	55,862 (55,862)	
		322,450 [142,501] 316,761 [141,484] 218,617 [123,767] (322,450 [142,501]) (316,761 [141,484]) (218,617 [123,767])	3,720 [2,060] 3,761 [2,098] 3,490 [1,974] (3,720 [2,060]) (3,761 [2,098]) (3,490 [1,974])	7,389 [6,332] 8,792 [7,732] 8,809 [7,778] (7,389 [6,332]) (8,792 [7,732]) (8,809 [7,778])	1,405 388 1,405 (388)	497 (497)	55,862 (55,862)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館改修のため(28)	
	5,513 5,677 m ²		433 426		383,000 377,000			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,662 m ²		柔剣道場、武道館、弓道場、プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めなくてください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

生体検査科学専攻 (博士課程(後期))	2	12	—	24	修士(保健学)	1.20	H13年度		
総合保健看護学専攻	3	—	—	—	博士(看護学)	—	H13年度		平成28年度より学生募集停止
生体検査科学専攻 (博士課程)	3	6	—	18	博士(保健学)	0.99	H13年度		
看護先進科学専攻	5	13	—	52	博士(看護学)	1.09	H26年度		
共同災害看護学専攻	5	2	—	8	博士(看護学)	1.12	H26年度		
大学の名称	東京医科歯科大学								
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	所在地	
医学部	年	人	年次 人	人		倍		東京都文京区湯島1-5-45	
医学科	6	101	5	630	学士(医学)	1.00	S26年度		
保健衛生学科	4	90		360	学士(看護学)、 学士(保健学)	1.01	H元年度		
歯学部									
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	1.00	S26年度		
口腔保健学科	4	32	2年次 5 3年次 6	155	学士(口腔保健学)	1.04	H16年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻>

(注)・本様式は、申請大学の教員と連携外国語大学の教員は別葉で作成してください。

(1) 担当教員表 (東京医科歯科大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北川 昌伸 (59)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修 大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	担当科目追加のため(28)
専	教授	塙 隆夫 (58)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
専	教授	仁科 博史 (54)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	塙 隆夫 (58)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	教授	田賀 哲也 (56)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	木下 淳博 (53)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	田中 敏博 (50)	平成28年4月	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修						
専	教授	石川 俊平 (40)	平成28年4月	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	玉村 啓和 (51)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	影近 弘之 (55)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	細谷 孝充 (49)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						

専	教授	山岡 昇司 (58)	平成28年4月	初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	高田 和生 (46)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	吉田 雅幸 (53)	平成28年4月	初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	中田 隆夫 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	畑 裕 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	上村 公一 (57)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	河原 和夫 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	高瀬 浩造 (60)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	伏見 清秀 (55)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	寺田 純雄 (51)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	杉原 泉 (57)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修						
専	教授	田邊 勉 (60)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	竹田 秀 (48)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	岩永 史朗 (44)	平成29年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年7月 自己都合により退職のため、 担当者変更(29)
専	教授	秋田 恵一 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	田中 真二 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	立石 宇貴秀 (47)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	浅原 弘嗣 (47)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						

専	教授	小嶋 一幸 (53)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	中島 康晃 (47)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	野村 渉 (38)	平成28年4月	機能分子化学特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	平野 智也 (41)	平成28年4月	機能分子化学特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	荒木 昭博 (53)	平成28年4月	胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	原 正幸 (58)	平成28年4月	初期研究研修特別研究(東京医科歯科大学)	兼担	教授	金井 正美 (54)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
					専	准教授	原 正幸 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	准教授	中村 桂子 (56)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス医学概論特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中村 桂子 (56)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス医学概論特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年4月 職位の変更(28)
専	准教授	井上 明宏 (51)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	山口 久美子 (40)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年3月に他大学への転出のため、 担当者変更(28)
専	准教授	増田 貴夫 (54)	平成28年4月	初期研究研修特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
					専	准教授	増田 貴夫 (54)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	准教授	杉内 友理子 (54)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	小林 宏寿 (47)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	安野 正道 (56)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年6月に他機関への転出のため、 担当者変更(28)
専	准教授	石黒 めぐみ (42)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						

専	准教授	長堀 正和 (49)	平成28年4月	胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	木津喜 雅 (38)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	清野 薫子 (37)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	岡田 随象 (35)	平成28年4月	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)	兼任	非常勤講師	岡田 随象 (35)	平成28年4月	バイオインフォマティクス	平成28年3月に他大学へ転出し、非常勤講師として継続勤務。なお、特別研究は担当者を変更(28)
					専	教授	藤原 武男 (41)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	講師	浦山 ケビン (38)	平成28年4月	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)	兼任	非常勤講師	浦山 ケビン (38)	平成28年4月	バイオインフォマティクス	平成27年12月に他大学へ転出し、非常勤講師として継続勤務。なお、特別研究は担当者を変更(28)
					専	教授	吉村 亮一 (45)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	講師	井ノ口 幹人 (47)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	井ノ口 幹人 (47)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年12月 職位の変更(28)
専	講師	二村 昭元 (41)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	二村 昭元 (41)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年4月 職位の変更(28)
専	講師	秋山 好光 (49)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	篠原 正浩 (43)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	石川 敏昭 (47)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	石川 敏昭 (47)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成29年4月 職位の変更(29)
専(調)	助教	小田柿 智之 (37)	平成28年4月							
専	助教	山本 浩平 (37)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	川田 研郎 (44)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	川田 研郎 (45)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年4月 職位の変更(28)

専	助教	東海林 裕 (45)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	大槻 将 (40)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	谷岡 利朗 (40)	平成29年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年12月 自己都合により退職のため、 担当者変更(29)
専	助教	菊池 章史 (38)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	山内 慎一 (38)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	鈴木 仁美 (35)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	谷本 幸介 (36)	平成28年4月	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	森 修一 (37)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	宮脇 豊 (39)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師 助教	岡田 卓也 (36)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年3月に自己都合により退職のため、担当者変更(28) 平成28年8月 職位の変更(29)
兼任	教授	井関 祥子 (51)	平成28年4月	初期研究研修	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	准教授	笠間 健嗣 (65)	平成28年4月	初期研究研修	専	准教授	安野 正道 (56)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	准教授	Cannell David Richard (44)	平成28年4月	初期研究研修	兼任	教授	烏山 一 (62)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	非常勤講師	寺岡 弘文 (71)	平成28年4月	初期研究研修	兼任	教授	金井 正美 (54)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(29)
兼任	非常勤講師	重水 大智 (36)	平成28年4月	バイオインフォマティクス						

兼任	非常勤講師	藤本 明洋 (26)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						
兼任	非常勤講師	佐藤 健吾 (42)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						
兼任	非常勤講師	田中 紀子 (39)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						
兼任	非常勤講師	武田 浩一 (56)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 担当教員表 (チリ大学)

設置時の計画				変更状況				備考
専任等区分	職名	氏名	担当授業科目名	専任等区分	職名	氏名	担当授業科目名	
外国	教授相当	Andrew Quest	細胞・分子生物学上級基礎研究演習 生体医学における細胞シグナル伝達 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	教授相当	Andrés Couve	細胞生理学					
外国	教授相当	Enrique Castellón	癌に関する細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	教授相当	Enrique Castellón	細胞・分子生物学 癌に関する細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	平成29年4月 チリ大学の授業改編のため、 科目を追加(29)
外国	教授相当	Lucía Cifuentes	遺伝医学					
外国	教授相当	Ramón Rodrigo	器官系統特殊生理病理学					
外国	教授相当	Luis Videla	人類生化学					
外国	教授相当	Virginia Fernandez	人類生化学					
外国	教授相当	Sergio Lavandero	生体医学における細胞シグナル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	教授相当	Lisette Leyton	英語での科学論文ディスカッション					
外国	教授相当	Mario Uribe	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	教授相当	Carlos Castillo	臨床研究の方法論の基礎 臨床研究演習					
外国	教授相当	Carlos Carvajal	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	教授相当	Jaime Poniachik	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	教授相当	Javier Brahm	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					

外国	准教授 相当	Mercedes Lopez	免疫学入門					
外国	准教授 相当	Gabriela Diaz	基礎薬理学					
外国	准教授 相当	Mauricio Farf án	診断・臨床研究への応用分子 生物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チ リ大学) 上部消化管外科臨床応用(チ リ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教 授相 当	Mauricio Farf án	臨床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生物 学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	担当科目を追加 (28)
外国	准教授 相当	Juan Pablo Torres	診断・臨床研究への応用分子 生物学 臨床研究演習 大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教 授相 当	Juan Pablo Torres	臨床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生物 学 臨床研究演習 大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	担当科目を追加 (28)
外国	准教授 相当	Paulina Pino	疫学 基礎研究演習					
外国	准教授 相当	Mariana Rojas	生体医科学研究の倫理					
外国	准教授 相当	Patricio Burdiles	文献ゼミナル 上部消化管外科臨床基礎(チ リ大学) 上部消化管外科臨床応用(チ リ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	教授 相当	Patricio Burdiles	臨床研究の方法論の基礎 文献ゼミナル 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	担当科目を追加 (28) 平成28年12月 職位の変更 (29)
外国	准教授 相当	Fernando Maluenda	文献ゼミナル 上部消化管外科臨床基礎(チ リ大学) 上部消化管外科臨床応用(チ リ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授 相当	María Isabel Jirón	文献ゼミナル 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授 相当	E Wainstein	文献ゼミナル 大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授 相当	Sergio Villanueva	システム生理学 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授 相当	Ana Maria Avalos	学術英語における文法及び記 述コミュニケーションスキル	外国	教授 相当	Lisette Leyton	英語での科学論文ディスカッショ ン	「学術英語における文法及び記述コ ミュニケーションスキル」を「英語で の科学論文ディスカッション」へ統合 したため (28)
				外国	准教 授相 当	María Cecilia Johnson	細胞・分子生物学	平成29年4月 チリ大学の授業改編のため、 科目を追加 (29)
外国	助教相 当	Vicente Torres	細胞・分子生物学上級 基礎研究演習					

外国	助教相当	Katherine Marcelain	癌のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習					
外国	助教相当	Ricardo Verdugo	癌のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習	外国	助教相当	Ricardo Verdugo	バイオインフォマティクス1 バイオインフォマティクス2 癌のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習	平成29年4月 チリ大学の授業改編のため、 科目を追加(29)
外国	助教相当	Diego Catalán	細胞分子免疫学					
外国	助教相当	Leonor Bustamante	遺伝医学					
外国	助教相当	Juan Carlos Salazar	分子微生物学					
外国	助教相当	Rodrigo Assar	生物統計学 基礎研究演習	外国	助教相当	Rodrigo Assar	バイオインフォマティクス1 バイオインフォマティクス2 生物統計学 基礎研究演習	平成29年4月 チリ大学の授業改編のため、 科目を追加(29)
外国	助教相当	Mauricio Suárez	生体医学研究の倫理					
外国	助教相当	Erwin Buckel	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	助教相当	Francisco López	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	Francisco López	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	平成28年12月 職位の変更(29)
外国	助教相当	Ernesto Melkonian	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	助教相当	Rodrigo Quera	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
				外国	助教相当	Patricio González Hormazábal	文献ゼミナール	平成29年4月 担当教員を追加(29)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
30 名	20 名	研究指導教員数と研究指導補助教員数を合わせて60以上 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
29	12	9	11	61	32	13	7	9	61	32	13	7	9	61
(31)	(11)	(8)	(11)	(61)						[3]	[1]	[Δ2]	[Δ2]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	10	0			52	8	0			52	8	0		
(50)	(10)	0								[2]	[Δ2]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	井上 明宏	必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①	他大学への転出のため(28)	
2	准教授	小林 宏寿	選択	大腸肛門外科臨床基礎	①	他機関への転出のため(28)	
			選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅰ	①		
			選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ	①		
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
3	講師	岡田 随象	選択	バイオインフォマティクス	②	他大学への転出のため(28)	
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
4	講師	浦山 ケビン	選択	バイオインフォマティクス	②	他大学への転出のため(28)	
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
5	助教	宮脇 豊	選択	上部消化管外科臨床基礎	①	自己都合のため退職(28)	
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅰ	①		
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	①		
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
合計(A)				後任補充状況の集計(B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
5	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	6 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	11 科目	計	2 科目

(注) ・ 就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置計画時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入ください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	竹田 秀	必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①	自己都合のため退職(29)	
2	助教	大槻 将	選択	上部消化管外科臨床基礎	①	自己都合のため退職(29)	
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅰ	①		
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	①		
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
合計(C)				後任補充状況の集計(D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

(注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(A)+(C)				後任補充状況の集計(B)+(D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
7	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	9 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	16 科目	計	2 科目

(注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

就任辞退をした教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に説明を行った。(28)

辞任した教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に説明を行った。(29)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	1. 修了要件191単位は、連携外国大学が求めている一般的な修了要件と比べてもかなり多い修了要件単位数となっているが、本専攻の教育研究目的や人材養成像やそれらを踏まえたカリキュラムポリシーに照らして、当該単位数を履修・修得する必要性を学生に対して丁寧に説明すること。	留意事項 1. 学生への説明については、面接試験で学生に丁寧に説明し意志を確認するとともに、入学後、履修要項で詳細に説明した。また、修了要件単位数が一般的な単位数と比べて多い理由として、講義に加えて行う臨床研修の単位数が多くなっていることが挙げられる。(28)	
	2. 研究指導に係る連携外国大学との責任や役割分担について、東京医科歯科大学側についてはある程度明確にされているが、チリ大学側の内容は不明確であるため、双方の役割分担等を更に明確にし、研究指導に支障が生じないように準備に万全を期すこと。	留意事項 2. 東京医科歯科大学、チリ大学及びクリニカ・ラス・コンデス（病院）から各3名の教員で構成する学術委員会を設置した。（添付学術委員会名簿参照）(28)	2. 学生の研究等が本格的に始まる2年次後期までに次の点について学術委員会にて検討する。 ①学術委員会が学生の研究指導の方針について責任を持って指導する。 ②指導体制、プログラム運営の責任及び役割分担を明確化する。(28) 2. 平成28年6月14日に開催された学術委員会において、下記の点について合意した。 ①学生指導に関して3機関の指導教員が連携してメール、スカイプ等を使用して学生指導を行い、学生の意向を確認のもと、主担当教員、副担当教員が等しく責任を持って指導する。 ②プログラムの運営について、本プログラムに関わるすべての事項について、月1回の学術委員会において協議し、両大学の合意の下に運営する。 ③学生が不良行為を行った場合は、滞在している国の法律及び両大学の学則に従うこととした。(29)

<p>3. 入学資格に国籍を制限していないにもかかわらず、研究指導や履修指導等において国籍を基準として区別する方法は不適切である。入学時の窓口で区別するか、医師資格の国で区別するなど、適切な方法で区別するよう改めること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>3. 本件については設置認可申請書を修正し申請したため、対応済みである。 (修正前) 原則、チリ人学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本人学生の場合は東京医科歯科大学の教員が主担当を務める。 (修正後) 原則、チリ国医師資格を持つ学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本国医師資格を持つ学生の場合は東京医科歯科大学の教員が主担当を務める。(28)</p>	
<p>4. 年間の研究指導計画や成績評価基準が不明確であるため、学生が十分に理解できるよう、あらかじめ十分な説明を行うこと。</p>	<p>留意事項</p>	<p>4. 学生の経験及び希望により柔軟な年間研究指導計画を個別に組むため、指導教員が、入学直後の学生との面談で年間の研究指導計画及び成績評価基準について詳細な説明を行った。(28)</p>	
<p>5. 連携外国大学との調整を行う教員に関する業績等が明らかでないが、調整を行える十分な能力を持った者を配置し、連携外国大学との連絡調整に支障をきたすことのないよう十分な体制を構築すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>5. 本国際連携専攻の教育研究分野において十分な臨床経験を持ち、経験に裏付けられた専門的知識や技能を備え、学生の修学上における問題点を総括的に指導できる者を本学のチリ拠点に配置した。 当該調整教員は、平成15年3月に本学医学部医学科を卒業後、関連病院を経て、国立がん研究センターの消化管内視鏡科で内視鏡診断・治療に従事してきた。平成26年11月から本学のチリ拠点に着任し、チリ国を始めとする南米諸国の医師に日本式の内視鏡診断・治療技術並びにその知識を教授するチリ国保健省と連携して実施している「大腸がん早期発見プロジェクト」に携わっており、平成28年4月からは本専攻の調整教員として、チリ国におけるこれまでの活動経験や人脈を活かし、精力的に活動している。 異なる文化的・地理的・歴史的背景を持つ人々と親しい関係を築き、現地の生活も熟知していることから、生活面においても学生を支援できる能力を十分有している。 以上のことから、当該教員は、本国際連携専攻学生への指導や、チリ大学等の教員との連絡調整を行うために必要な能力を十分有していると考えている。 (28)</p>	

	6. 協定書の締結に当たっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。	留意事項	6. 学術委員会において協定書に則り、本プログラムを運営している。学術委員会は、TV会議を通じて月1回程度開催している。 (4/18に学術委員会を予定していたがチリの大雨のため5/9に延期。) (28)	
--	--	------	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1. Name of the Program Name of the course is “University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a subspecialty” . (1. 専攻名 国際連携医学系専攻)</p>	<p>1. Name of the Program Name of the course is “University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty” . 1. 専攻名 国際連携医学系専攻</p>
<p>26. Language The language used in this program is English. Spanish or Japanese is a requirement for clinical instruction. (26. 使用言語 英語とする。ただし、臨床教育はスペイン語又は日本語とする。)</p>	<p>26. Language The language used in this program is English and/or Spanish. Spanish is a requirement to obtain the clinical specialty in Chile and Japanese to obtain the clinical subspecialty in Japan. (26. 使用言語 英語あるいはスペイン語とする。ただし、チリにおける専門医の資格 (Specialty) を得るためにはスペイン語、日本におけるサブスペシャリティ領域専門医資格 (Subspecialty) を得るためには日本語を必要とする。)</p>
<p>29. Requirements of Completion (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are listed in the attached document Annex 1. (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years; complete the required number of credits listed in Annex 1; receive necessary research guidance; submit a thesis; and pass a thesis defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDU で規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUCh で規定された単位数の修了要件を満たさなければならない。なお、修得すべき最低単位数については別表1のとおりとする。 (2) JD プログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在籍し、所定の授業科目について前号の別表1に掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)</p>	<p>29. Requirements of Completion (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are specified separately by Memorandum of Agreement (hereinafter referred to as “MOA”). (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years; complete the required number of credits listed in MOA; receive necessary research guidance; submit a thesis; and pass a thesis defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDUで規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUChで規定された単位数の修了要件を満たさなければならない。なお、修得すべき最低単位数については Memorandum of Agreement (以下MOA) で別に定める。 (2) JDプログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在籍し、所定の授業科目について前号のMOAに掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)</p>
<p>31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is explained in Annex 2. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同して行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDU における各授業科目の成績は、0 から4 までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UCh における各授業科目の成績は、1.0 から7.0 までの点数で評価され、4.0 以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算については別表2のとおりとする。)</p>	<p>31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is specified separately by MOA. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同して行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDU における各授業科目の成績は、0から4までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UCh における各授業科目の成績は、1.0から7.0までの点数で評価され、4.0以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算についてはMOAに別に定めることとする。)</p>

<p>署名者 【東京医科歯科大学】 President Dr. Yasuyuki Yoshizawa Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (学長 吉澤靖之 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>Dean, Faculty of Medicine Dr. Yoshinobu Eishi Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (医学部長 江石義信 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>【チリ大学】 Rector Dr. Ennio Vivaldi University of Chile(UCh) (学長 Dr. Ennio Vivaldi チリ大学 (UCh))</p> <p>Dean, Faculty of Medicine Dr. Manuel Kukuljan University of Chile(UCh) (医学部長 Dr. Manuel Kukuljan チリ大学 (UCh))</p> <p>CEO Mr. Gonzalo Grebe Clinica Las Condes (CLC) (CEO Mr. Gonzalo Grebe クニコラスコンデス (CLC))</p> <p>Academic Director Dr. Patricio Burdiles Clinica Las Condes (CLC) (アカデミックディレクター Dr. Patricio Burdiles クニコラスコンデス (CLC))</p>	<p>署名者 【東京医科歯科大学】 Dr. Yasuyuki Yoshizawa President Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (学長 吉澤靖之 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>Dr. Yoshinobu Eishi Dean, Faculty of Medicine Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (医学部長 江石義信 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>【チリ大学】 Dr. Ennio Vivaldi Rector University of Chile(UCh) (学長 Dr. Ennio Vivaldi チリ大学 (UCh))</p> <p>Dr. Manuel Kukuljan Dean, Faculty of Medicine University of Chile(UCh) (医学部長 Dr. Manuel Kukuljan チリ大学 (UCh))</p> <p>Mr. Gonzalo Grebe CEO Clinica Las Condes (CLC) (CEO Mr. Gonzalo Grebe クニコラスコンデス (CLC))</p> <p>Dr. Juan Pablo Torres Research Director Clinica Las Condes (CLC) (リサーチディレクター Dr. Juan Pablo Torres クニコラスコンデス (CLC))</p>
--	--

② 協議の場

個々の大学院生に対する日常の学術活動の調整は、東京医科歯科大学、チリ大学およびCLC から少なくとも1名以上の教員（教授あるいは准教授（相当））よりなる学術委員会（総員5名以上）が行う。少なくとも1ヶ月に1度のテレビ会議システムを通じてきめ細やかな指導体制を構築する。

【実施状況】

平成28年4月18日に予定されていたが、チリでの大雨の影響により開催を延期した。

第1回

平成28年5月9日（月）20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. 設置計画履行状況報告書等について
3. 単位について
4. MOUについて
5. 知的財産権について
6. 学生の指導について
7. その他

第2回

平成28年6月14日（火）20時30分～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. シラバスの公表について
3. 単位の認定について
4. 知的財産権について
5. 来年度の試験日程について
6. プログラム運営における責任の所在について
7. 学生指導について
8. 学部長会議について
9. その他

第3回

平成28年7月21日（木）20時30分～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. シラバスの公表について
3. 単位の認定について
4. 来年度の入学試験日程について
5. その他

第4回

平成28年9月26日（月）20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
3. 12月の訪問団の準備について
4. JDPの発展及び2017年の割当について
5. 日本人のリクルートについて
6. その他

第5回

平成28年10月17日（月） 20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. 単位認定について
3. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
4. 12月の訪問団の準備について
5. Joint Workshop 2016@TDMU (FD研修について)
6. その他

第6回

平成28年11月22日（月） 20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. マルガリータ・アウマダ氏のプレゼンテーション
3. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
4. 12月の訪問団の準備について
5. Joint Workshop 2016@TDMU (FD研修) について
6. TMDU教員のチリ出張について
7. 日本留学フェアについて
8. その他

第7回

平成28年12月7日（月） 15時10分～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. 学術委員会委員について
3. 入学試験について
4. 消化器内科のプログラム内容について
5. 学部長会議について
6. その他

第8回

平成29年1月31日（火） 20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. TMDU教員のチリ出張について
3. MOAについて
4. その他

第9回

平成29年3月21日（火） 20時～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. 学術委員会委員について
3. 単位認定について
4. 設置計画履行状況報告書等について
5. TMDU教員のチリ出張について
6. 学部長会議について
7. 次回会議について
8. MOAについて
9. その他

第1回

平成29年4月10日（月）16時20分～

【議題】

1. 前回議事要旨について
2. 学術委員会委員について
3. 消化器内科学コースについて
4. 上部消化管外科学コースについて
5. その他

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更があったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京医科歯科大学及びチリ大学合同の学術委員会で行う予定である。(28)

東京医科歯科大学及びチリ大学合同の学術委員会で行っている。(29)

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月1回開催する予定であり、平成28年度第1回学術委員会は5月9日に開催した。(28)

毎月1回開催しており、教員及び関係事務が出席している。(29)

c 委員会の審議事項等

- (1) 入学者選抜に関する事項
- (2) 学生の身分（在籍の管理）及び安全に関する事項
- (3) 学生の奨学及び厚生補導に関する事項
- (4) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (5) 教育組織の編成に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 研究指導教員の選定に係る事項
- (8) 評価試験委員会の設置に関する事項
- (9) 学位授与及び課程修了に関する事項
- (10) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (11) その他両大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

開講初年度のため現在未決定ではあるが、各専門分野の教員が最先端の知識を全教員にフィードバックする予定である。(28)

平成28年12月チリ人教員3名を招聘し、高等教育制度や両国におけるサブスペシャリティの現状について講演を行った。また講演内容に関するアンケートを実施し、次年度の教職員FD研修に活かす予定である。(29)

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

テレビ会議システムの使用または訪問、招聘による実施方法を検討している。(28)

日本にチリ大学教員3名を招聘し、本学にて実施した。(29)

c 開催状況（教員の参加状況含む）

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。(28)

2日間に渡り行われ、大学教職員及び学生を含め、計63名が参加した。(29)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。(28)

本学においては研修内容を3年次以降の本学での臨床研修に活かす予定である。また、情報共有するためにチリ大学へDVDを送付し、研修内容の一部をチリ大学HPに掲載し、その他教員が閲覧できるようにした。(29)

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

今年度末に学生に対して実施予定である。(28)

平成29年4月に学生アンケートを行い、結果についてテレビ会議で共有する予定である。(29)

b 教員や学生への公開状況、方法等

学術委員会等において審議・報告する予定である。(28)

学術委員会等において審議・報告した。(29)

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度のため今年度は実施できないが、来年度以降毎年度学術委員会で自己点検・評価を行う予定である。(28)
平成30年3月に学術委員会及び医学部長会議にて自己点検・評価及び外部評価を行う予定である。(29)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度実施後速やかに公表する

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・東京医科歯科大学における認証評価は平成32年度までに審査を受ける予定である。またチリ大学においては本専攻は既存プログラムであるチリ大学大学院メディカルサイエンスプログラムに組み込まれており、今年度当該プログラムは外部機関による認証評価を受審予定である。(28)

・東京医科歯科大学における認証評価は平成32年度までに審査を受ける予定である。またチリ大学においては本専攻は既存プログラムであるチリ大学大学院メディカルサイエンスプログラムに組み込まれており、平成28年8月に当該プログラムは外部機関による認証評価を受審し、平成28年8月から平成32年8月まで認められている。(29)

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29年 6月頃予定)